

正誤表

本書中、下記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P.77

2-3 音響機器の種類、構造、機能及び用途

5. スピーカの動作原理は、フレミングの右手の法則によるものである。

誤 [○]

正 [×]

P.97

3-1 電気工学及び電子工学の基礎理論

11. コンデンサは、直流電流を通す。

誤 [○]

正 [×]

P.135

誤 1. 試験時間

セッティング及びリハーサル時間：8分

ミキシング時間：約2分

原状復帰時間：2分以内

2. 注意事項

(1) ミキシング作業の試験場には、試験問題、時計（ストップウォッチ等）、筆記用具以外のものを持ち込まないこと。

① なお、時計等の代わりとして、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の使用（電卓機能の使用を含む。）を禁止とする。

(4) ウ. 「セッティング及びリハーサル」の時間内において、PA スピーカから、朗読又は音楽が全く出なかった場合。

正 1. 試験時間

セッティング及びリハーサル時間：8分以内

本番（ミキシング）時間：約2分

原状復帰時間：2分以内

（注）セッティング及びリハーサル時間内に、必ず通しリハーサルを行うこと。

2. 注意事項

(1) ミキシング作業の試験場には、試験問題、時計（ストップウォッチ等）、筆記用具以外のものを持ち込まないこと。

なお、時計の代わりとして、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の使用（電卓機能の使用を含む。）を禁止とする。

(4) ウ. セッティング及びリハーサル時間内において、PA スピーカから、朗読又は音楽が全く出なかった場合

P.136

誤 3. 仕様

(1) 作業の手順

キ. セッティング及びリハーサルが終了した後、マイクの入力フェーダを絞り、CDの再生を止めて技能検定委員に作業終了の意思を表示し、ミキシングコンソールから離れること。

正 3. 仕様

(1) 作業の手順

キ. セッティング及びリハーサルが終了した後、マイクの入力フェーダを絞り、CDの再生を止めて技能検定委員に作業終了の意思を表示し、ミキシングコンソールから離れること。

P.137

誤 (3) ミキシングの条件

- ア. 音源は、朗読及び音楽 CD に記録された音楽である。
- イ. 朗読は、センター定位で行い、CD はステレオで再生すること。
- ウ. 朗読及び CD の再生は、センター定位で行うこと。
- エ. ミキシングは、別添の台本により行うこと。
- オ. 本番開始の合図は技能検定委員が出すので、直ちに入力フェーダを上げること。
なお、朗読は、合図の後に技能検定委員の CUE で始まる。

正 (3) ミキシングの条件

- ア. 音源は、朗読及び音楽 CD に記録された音楽である。
- イ. 朗読はセンター定位で行い、CD はステレオで再生すること。
- ウ. ミキシングは、別添の台本により行うこと。
- エ. 本番開始の合図は技能検定委員が出すので、直ちに入力フェーダを上げること。
なお、朗読は、合図の後に技能検定委員の CUE で始まる。

P.139

誤 朗読① 生まれたよよ ぼく

まだ眼は開いていないけど

朗読② 海はいつまでも深くたたえてほしい

正 生まれたよ ぼく

まだ眼は開いてないけど

海はいつまでも深くたたえてほしい